



12  
LEADING COMPANY

さんいんさんそこうぎょう  
山陰酸素工業 株式会社

## 経営の中心に人を据え 地域に幸せを循環させ未来をつくる

家庭から先端産業まで  
地域の発展を支える企業

戦後間もない1946年に創業した「山陰酸素工業」は、ものづくりに必要な不可欠な酸素の取り扱いからスタートし、産業用ガスの製造・販売を手がけ、1960年代には一般家庭・業務用LPGガスの供給を開始。2002年からは、地球環境に負荷が少ないクリーンエネルギーの液化天然ガス(LNG)事業にも着手し、時代とともに事業を拡大してきた。

現在では、家庭用から産業、医療用などさまざまな分野で使われる高圧ガスと、関連機器販売で山陰トップクラスのシェアを誇る。山陰地方全域から関東、九州地方まで業務エリアを広げ、工業用、医療用ガスを販売。LPGガスは鳥取・島根で約2万戸の供給実績を持ち、さらに山陰酸素グループ(エネルギー、自動車、食品など12社2組合)が、山陰地方を中心に事業を展開し、幅広い分野に対応している。戦後の復興期から山陰の経済を支えてきた歴史があり、「わたしたちは、総合力で地域を支え、生活に豊かさを提供し、輝きのある未来に向かって共に前進します。」という企業理念からは、その自負と未来への強い使命感が見て取れる。

### 社員の幸せを主眼に置く

並河元社長は柔軟に次期中期経営

計画を組み立て、2023年度をそのゼロ年度として位置付け「社員の幸せにフォーカスした経営」を打ち出している。「一人一人が幸せに働いているかを主眼に置いた『ウェルビーイング(Well-being)』の取り組みで、働く人の満足度を上げていきたいと考えています。これは個人のものごとの捉え方に関わることであり、ただ掲げるだけでは浸透しません。行動指針や評価基準、判断基準に組み込んで意識を変えていくことが必要」と語り、ビジョンを浸透するためのプロジェクトチームを横断的に組織する予定だ。

「インフラ会社ですから、事業活動自体が公共性を帯びており、SDGsとの親和性は高い。クリーンなエネルギーを安定供給し、有事の際でもエネルギー供給を絶やさないことが第一」とした上で、社員が働く環境や福利厚生の充実を図っている。具体的な取り組みの一環として、健康診断結果を一元管理する健康管理システムを取り入れ、データ分析で出た課題に対して「野菜中心の置き型社食サービス」や「禁煙タイム」を導入するなど、施策を検討・実施している。

### 脱炭素社会実現に向けて

こうしたサステナブルな取り組みの中で、「2050年カーボンニュートラルの実現」はエネルギー業界として無視できない課題だ。この実現に向けて、民間ベースでCO<sub>2</sub>を資源として再利用する「一般社団法人カーボンリサイクルファンド」へ加入し、他参画企業の若手社員とカーボンリサイクルについて議論を交わしている。「まず本社エリアをカーボンニュートラル化することを目指していますが、将来的には、サプライチェーンまでの範囲を対象として見据えています。その分実現に時間はかかりますが、自分たちだけでは意味がないですからね」



1979年エジプトカイロ生まれ、島根県育ち。コンサルティング会社を経て帰郷し、2020年4月に代表取締役社長に就任した並河社長。大きな変革を迎えるエネルギー業界で既存事業に囚われない新規事業開発に取り組む



## 山陰酸素工業 株式会社

### 事業内容

高圧ガスおよびガス関連機器の販売、供給設備の設計施工管理 など

創業 昭和21 (1946) 年9月15日

代表者 代表取締役社長 並河 元

社員数 340名 (男271名 女69名)

本社 鳥取県米子市旗ヶ崎2201-1

電話 0859-32-2300

### 採用エリア (勤務地)

安来市、松江市、出雲市、雲南市、邑智郡浜田市、鳥取市、倉吉市、米子市、境港市  
東京都、埼玉県、栃木県、大阪府、岡山県福岡県

### 採用担当者からあなたへ

創業以来、ガスの販売を軸に、暮らしに関わる様々な事業を行ってきました。近年はエネルギーマネジメントなどの新たな事業にも挑戦しています！エネルギーに興味がある方、新しいことに挑戦するのが好きな方、ぜひインターンシップや説明会にお越しください！



人事グループ 課長  
前田 和宏さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0859-32-9173

採用直通 E-mail

jinji@sanin-sanso.co.jp

公式サイトは  
こちら



Instagramは  
こちら



リクナビは  
こちら



並河社長は従来の方法にとらわれず、他分野の新規事業立ち上げに携わることができる仕事を社内公募するなど、柔軟な思考で新規事業に積極的に取り組んでいる。その上で、必要としているのが事業の芽をつくる人材だ。「求めるのはちょっとした興味を放っておかず、わからないことを質問したり、自分で調べたりできる人。こうした好奇心がアイデアの原点になるはず」「当たり前に思っていたことも、視点を変えればちょっとしたアイデアとなり、新しい何かが生まれます」と未来に挑戦する仲間を求めている。

### 新たな価値の創造に向け 人材育成に注力

地域と共に歩み、成長してきたエネルギー業者として、地域への想いも深い。災害時の安定的なエネルギー供給や、非常用LPガス発電機の寄贈などの地域防災活動といった地域貢献だけでなく、地域と共に課題を解決する取り組みも進めている。「山陰は過疎化や少子高齢化など、未来の日本社会を映す先進地域。地域が抱える課題を把握し、解決の手段を提供できれば日本だけでなく世界に展開できるかもしれない」と意気込む。エネルギー産業という強い経営基盤のもと、業界にとられない新しい発想で、山陰発のソリューションを生み出す日は近い。

### 地域と共に課題解決の ソリューションを



1



2



3

1 子どもたちが楽しんで学べる仕掛けが満載の《さんそ学習館ケイオス(鳥取県安来市)》。科学実験教室などのイベントも随時開催していて、これからの地域教育への貢献が期待される施設 2 《安来ガスセンター》は、医療用・産業用のガスを充填する施設。安全・安心で高品質なガスの安定供給に努めている 3 《鳥取ショールーム》では最新の調理機器や床暖房などの設備を展示し、料理教室やイベントも開催

## 山陰酸素工業で働く魅力って?



### 人が優しく住みやすい 島根に就職を決意

生まれは愛知県ですが、進学で島根に来ました。大学の4年間を島根で過ごし、知人もたくさんでき、とても住みやすいことから、島根に就職したいと考え、山陰酸素に入社しました。現在は大手得意先への供給・管理を担当。ものづくりの一端を担っているというやりがいを感じる事ができる仕事です！

安来支店/産業ガス課  
鈴木 優太さん  
(2019年入社)



### たくさんのお客様との出会い つながりがやりがい

関西の大学を卒業後、地元で働きたいと思いUターンしました。今は一般家庭向けのガスおよびガス関連器具を販売し、手配、工事にもかかわっています。「レンジ周りが綺麗になった」「来てくれてうれしい」などお客様からいただく声をやりがいに、業務に必要な資格取得に向けて、日々勉強中です。

松江支店/LPガス直売課  
服部 紗季さん  
(2022年入社)



### 自分の設計が形になる喜びと ガスを届ける使命感

LPガス直売課、特約課を経て設備グループへ。工場にガスを供給する設備の設計や工事の手配、工程管理といった設備工事の一連を未経験から学ばせてもらいました。自分が手がけた設計が事故や大きなトラブルを起こすことなく完成した時は安心と同時に安全にガスを供給できることへの大きなやりがいを感じます。

技術部/技術部設備グループ  
池田 誠司さん  
(2015年入社)



### 配送にプラスアルファの サービスを

お客様に直接関わる仕事がしたいと思い入社。工場や病院への産業用、医療用ガスの配送営業を担当しています。ガスと言ってもさまざまな種類・用途があり、社会を支えていると実感しています。容器の移動や取付では緊張感を持って安全に作業することを心がけ、サービスの提供をしていきたいです。

米子支店/産業ガス課  
下前 匠吾さん  
(2022年入社)



### 販売店と二人三脚 知識を増やしなが営業活動

米子地区のガス販売店向け営業を担当しています。取引先が対会社ということもあり、扱う金額も大きく、仕事のやり方によって取引先の業務・業績にも関わってくるため責任の大きな仕事です。販売店との同行営業、展示会の企画、チラシ作成など、業務は多岐にわたり、やりがいのある仕事です。

米子支店/LPガス特約課  
片寄 皓也さん  
(2016年入社)



### お客様のどんな相談にも 全力で対応します!

安来地区の一般家庭向け営業を担当しています。お客様の声をしっかり聞くのが仕事。生活に必要なエネルギーを扱う専門家として些細なお悩みやお困りごとを聞き逃さないことを心掛けています。ガスだけでなく電気やリフォームなど、様々な角度からご家庭のあらゆる相談に対応できるので喜ばれています。

安来支店/LPガス直売課  
松本 力人さん  
(2016年入社)



### 前向きに働ける 環境づくりに取り組む

《人事部》では「男性/女性は当然〇〇であるべき」「これまでのやり方にこだわり新しい方法を試さない」といった無意識のうちの思い込みや偏見=アンコンシャス・バイアスに目を向け、誰もが安心して発言できる環境づくりを行っています。



### 会社と地域との かけ橋になる

《広報室》は2020年4月に新設された部署です。企業としての価値を広く知っていただき地域社会とのつながりを強化するための、さまざまな情報発信を行っています。SNSや新聞等を見たお客様から反響があるととても嬉しいです。